

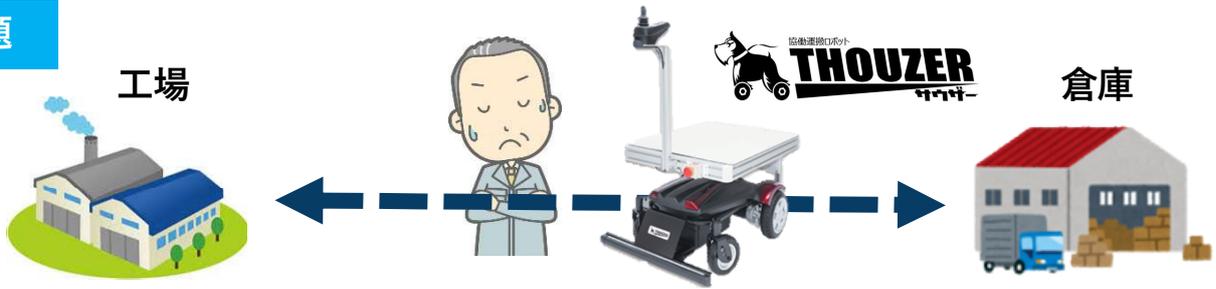
協働搬送ロボットの遠隔操作にLPWAを採用

~Wi-Fiに代わる新しい無線ネットワーク基盤のご提案~

サブギガ（920MHz帯無線モジュールを使用）

建屋間の通信設備を導入するにはコストが掛かります。
LPWAを利用することで設備費用、敷設工事費用を低減します。

課題



Wi-Fi環境が無い、既設Wi-Fiネットワークを使いたくない

ご提案

THOUZER LINKS
(当社製監視アプリ)

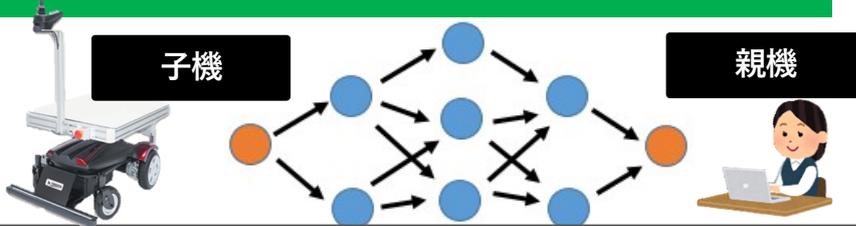


■LPWA (Low Power Wide Area)

その名の通り省電力かつ長距離での無線通信が可能な規格です。IoTの普及に際し次世代ネットワークとして期待されています。

LPWA通信により事務所の管理PCからロボットを遠隔制御

マルチホップ方式により更に長距離通信が可能



●子機 (中継機能)

■マルチホップ (Multi Hop)

マルチホップとは、無線機に備え付けられたセンサを中継器として利用し、広範囲におよぶ通信を可能とするネットワーク技術です。別の子機が中継役となりデータを親機へ伝達致します。

※開発中のため形状・仕様が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせ先